

薬物乱用防止啓発事業

全体概要

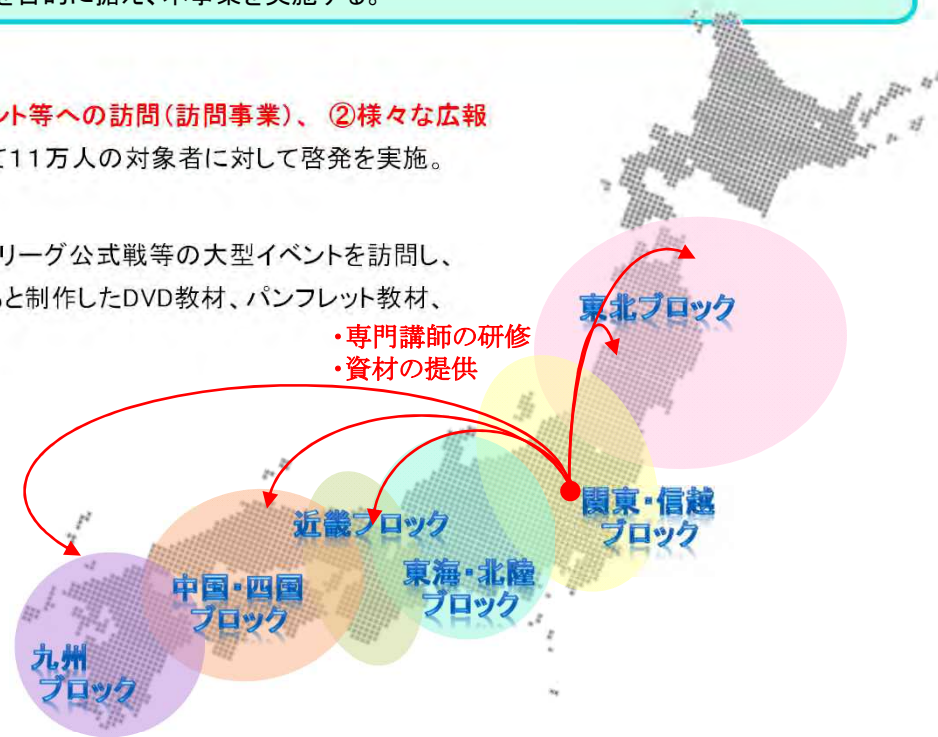
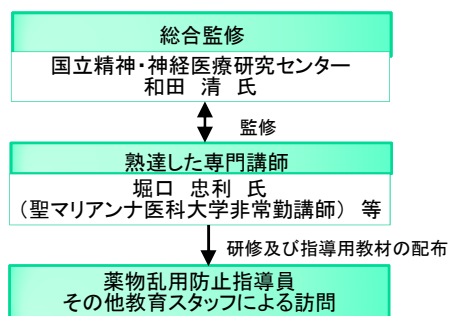
- 受託業者: 株式会社小学館集英社プロダクション
- 事業の目的

近年、麻薬・覚醒剤のみならず、「合法ハーブ」等と称して販売される薬物(脱法ドラッグ)の乱用が急速に拡大しており、特に、20歳代を中心とした若年層の間で乱用の拡大が懸念される。こうした現状を踏まえ、若い世代からその保護者及び指導者層に対して、**薬物の危険性等の正しい知識を普及するとともに、薬物乱用の誘いを断れるようにすること**を目的に据え、本事業を実施する。

- 実施内容
イメージキャラクターを活かした、①小中高等学校、地域のイベント等への訪問(訪問事業)、②様々な広報媒体を活用した普及啓発事業(補完事業)の2本柱で、年間を通して11万人の対象者に対して啓発を実施。

【1】訪問事業

小中高等学校等の教育機関をはじめ、全国6ブロックにおいて、Jリーグ公式戦等の大型イベントを訪問し、啓発を実施。また、実際に訪問する講師には、専門家の監修のもと制作したDVD教材、パンフレット教材、指導用ppt等を配布し、従来よりもより効果的な訪問を目指す。



【2】補完事業

公式Facebook、Twitter、You Tubeを開設し、薬物乱用についての最新情報や、訪問内容について随時情報をアップする。訪問が難しい場所であっても、必要な情報が伝わるような充実した内容にし、更には訪問事業と連動させることにより、より広く、より効率的で、より効果的な事業を展開。



訪問事業(小中高等学校、地域のイベント等への訪問)

小中高等学校等の教育機関をはじめ、児童館や学習教室、Jリーグ公式戦といった大規模イベントを訪問し、薬物乱用防止の普及啓発を実施

○ 講義内容

イメージキャラクターを用いた啓発資材を活用しながら、①薬物乱用の最新の状況、②薬物乱用が人体に及ぼす悪影響、③薬物依存がもたらす社会的損失、④再乱用防止対策の現状、⑤薬物の誘惑から逃れる3カ条、等について分かりやすく解説。

指導時間は40分～50分を基本とし、各学校の要望にあわせた時間に可能な限り対応。

◆ 指導の流れ(案)



○ イメージキャラクターを活用した啓発資材

- ①DVD教材(※収録時間15分程度)
- ②指導用パワーポイント
- ③パンフレット教材
- ④クイズ大会簡易版

◆ 訪問先で用意して頂きたい資材等

- ・DVDプレイヤー 1台
- ・パソコン1台(パワーポイントが使用できるもの)
- ・マイク 1本
- ・プロジェクター 1台
- ・会場設営
- ・パンフレット及びアンケートの事前配布

○ 講師

和田清氏(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部長)の総合監修のもと、堀口忠利氏(聖マリアンナ医科大学非常勤講師)をはじめ、薬物乱用教育の経験豊富な指導員を派遣。

○ 教育機関以外の訪問先

- ①Jリーグ公式戦等の大規模イベント(通年)
- ②児童館・コミュニティセンター等のイベント(通年) など

○ 予約受付先

事務局TEL 4月1日以降 ⇒薬物乱用防止啓発事業事務局
電話:03-5330-3043 FAX:03-5330-3377
メール:d-info@spb.co.jp
3月31日迄 ⇒薬物乱用防止啓発事業準備室
電話:03-3515-6779
メール:kyosei@shopro.co.jp

※資材のみの提供をご希望の場合も、上記にご連絡下さい。原則として、予約は4月1日から順次受け付けます。



【イメージキャラクター案】

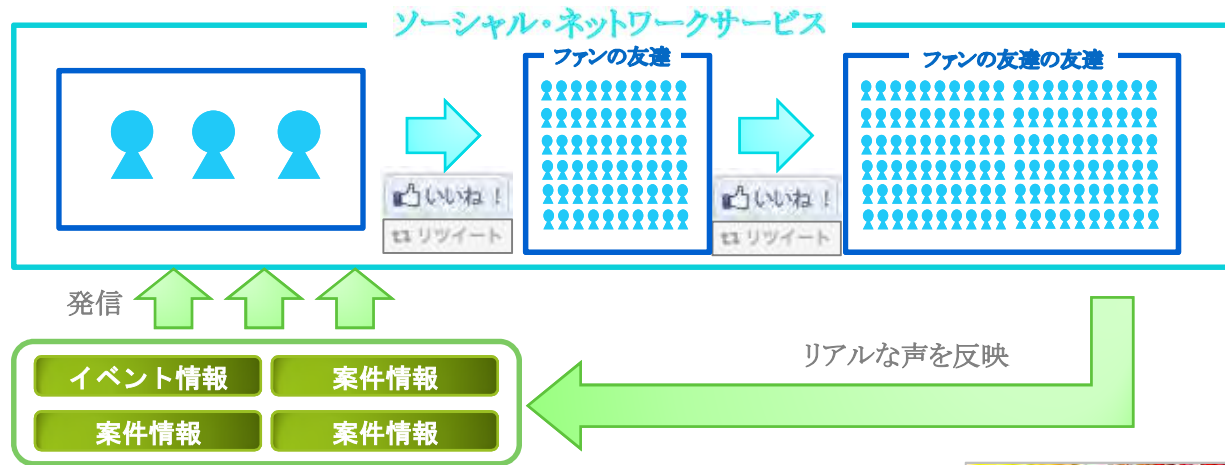


補完事業(様々な広報媒体を活用した普及啓発事業)

ソーシャル・ネットワーク・サービス(SNS)という双方向のメディアを活用し、“より広く、より深い、より効率的な啓発”を実施。

- SNSの活用目的

SNSを活用することで、参加者と直接やりとりをおこない、訪問後も継続して働きかけを行う。
また、SNSのもつ波及性を最大限に活かし、薬物乱用防止の世論の形成につなげる。



- 公式ページの開設(※4月1日オープン予定)

- ①Facebook
- ②Twitter
- ③You Tube

- 発信する内容

専門家の監修を受けた**薬物乱用に係る最新情報や訪問事業の内容報告**等を随時アップすることで、訪問対象とならなかった青少年に対しても、訪問と同等の効果を得られるような内容にする。

また、訪問を受けた青少年のリアルな声を収集するとともに、訪問内容案についても募集を行い、より効果的な啓発内容につなげる。

- その他の補完事業

テレビCMを深夜枠で放映し、薬物乱用防止を広く訴える。



【イメージ図】